

大館の歴史散歩

火内ひないの山々序

朝な夕なに仰ぎ見る郷土の山、市民の皆様にはそれぞれの感慨があることと思います。

大きく悠然と座し、私たちの毎日を見守り、幽玄な山容から私たちの心に何かを訴え、春秋の恵みを与えてくれる山々。

郷土の先人達も故郷の山々にいろいろな感慨を込め、また、恩恵を受けながら日々の営みを続け、現代に貴重な財産を残してくれました。
今、開発の名のもとに、丘を

剥ぎ、山を削り、そこに育まれてきた歴史をも消し去ろうとしています。

郷土の山の名は、いつ、だれが、どのような理由で名付けたのだろうか。郷土を理解する上でも、子孫たちに豊かな郷土を残していくためにも、それらのことを知ることは大事なことであらうと思います。

「青垣めぐらす鹿角の里」とは、隣接する鹿角盆地をよく言わねばなりません。大館盆地

をこのように表現することばはあるのだろうか、山に限らず、郷土大館を表現することばは探し得なかった。今からでも大館を一言で紹介できる「修辞」をつくってはどうか。

大館地方が「火内」と呼ばれていた時代から、いや、もっと古くから、時を超えていつも変わりなく里人の生活を見守ってきたくれた山々、「火内の山々」とはそのような意味から題としたものです。

山の歴史、伝承、そして山への感慨、先人達が書き記したものは数多くありません。私共は郷土の山を思いやる一念で、微力を承知で今年も努力してみたいと思います。

市役所史跡探訪会

私の本棚

中央図書館新着図書

『雪恋い』 (高田宏著 新宿書房)

原始の自然におそれを感じると同時に、心ひかれる自分の心の根に常に雪があるという、自称「雪国人」の著者が90余の作品を紹介しながら、雪を愛する人々とその風土をつづるエッセイ。



〈一般書〉

◇それぞれの海へ (ラッセル・ホーバン) ◇「人間失格」の発見 (村瀬学) ◇日本女子大桂華寮 (林えり子) ◇異国の窓から (宮本輝) ◇雪はよごれていた (澤地久枝) ◇聲 (川田順造) ◇岬一郎の抵抗 (半村良) ◇ジョルジュ・サンドはなぜ男装をしたか (池田孝江) ◇山本勘介(竹内勇太郎) ◇だまってすわれば(神坂次郎) ほか

〈児童書〉

◇どじ魔女ミルの大てがら (ジル・マーフィ) ◇学校では教えないエレクトロニクス (奥澤清吉他) ◇おかではたらくロバのポチョ (浅野庸子) ◇おとうさんとあそぶ絵本 (角田巖) ほか

■4月のテーマ関連図書コーナーは「時間とお金の使い方」
■中央図書館の休館日は、4月17日、28日、29日、5月3日、4日、5日、15日です。

'88 大館さくらまつり

4月29日～5月5日

- ▽4月29日(金)
 - 9時 秋田県比内鶏、金八鶏展覧会(桂城公園)
 - 9時30分 桜まつり開会式(桂城公園)
 - 12時 山田記念ロードレース(長根山陸上競技場スタート)
 - 16時 大館曲げわっぱ太鼓演奏(桂城公園)
- ▽4月30日(土)
 - 14時 市民カラオケ大会(桂城公園)
- ▽5月1日(日)
 - 13時 観光大館ミス杉の子発表会(桂城公園)
 - 13時30分 観光大館ミス杉の子撮影会(桂城公園)
 - 14時 歌謡名人大会(桂城公園)
- ▽5月2日(月)
 - 18時 歌謡民謡ショー(桂城公園)
- ▽5月3日(火)
 - 9時 全県選抜高等学校柔道大会(市民体育館)
 - 9時 秋田犬保存会本部展(桂城公園)
 - 16時 歌謡ショー(桂城公園)
- ▽5月4日(水)
 - 14時 新作舞踊発表会(桂城公園)
- ▽5月5日(木)
 - 9時 秋田県声良鶏展覧会(桂城公園)
 - 13時 大館曲げわっぱ太鼓少年部演奏(桂城公園)
- 15時 桜まつり閉会式(桂城公園)